Ten-O-Four P.M.

EXT. CLOCK TOWER / STREET - NIGHT - The clock changes from 9:55 to 9:56. Doc checks his wrist watch.

DOC : Damn! Where is that kid?

: Damn!

: Damn, damn!

: You're late! Do you have no concept of

time?

MARTY: Hey, come on. I had to change. You think I'm

going back in that, that zoot suit? Doc, the

old man really came through. It worked.

DOC : What?

MARTY: He laid out Biff in one punch. I didn't know

he had it in him. He's never stood up to

Biff in his life.

DOC : Never?

MARTY: No, Why? What's the matter?

DOC : All right. Let's set your destination time.

: This is the exact time you left. Let's send you back at exactly the same time. It'll be

like you never left.

: Now, I've painted a white line on the street way over there. That's where you start from. I've calculated the precise distance, taking into account the acceleration speed and wind resistance retroactive from the moment the lightning strikes... which will be in exactly seven minutes and twenty-two seconds. When this alarm goes off, you hit the gas.

concept 概念,考えの

zoot suit o

come through 切り抜ける。 果たす、成功する o

It o stand up to ~に勇敢に立ち 向かう o

What's the matter o

exact 正確な

paint 塗る.引く

distance PM

take into account ~を考取 する o acceleration 加速 resistance 抵抗 retroactive さかのぼる o

go off 鳴り出す, 音を出す o hit the gas アクセルを踏む



午後10時4分

DVD	01:31:05

屋外 - 時計台/通り - 夜 - 時計が9時 55 分から9時 56 分に変わる。ドクは腕時計をチェックする。

ドク: まったく! あの子はどこだ?

: まったく! : ほんとうに!

: 遅いぞ! 君には時間の概念がないのか?

マーティ: まあ、そうは言っても。 遊替える必要があったん

だ。あのズートスーツで僕が帰ると思う? ド

ク、パパが事を丸く収めたよ。うまくいったんだ。

ドク: 何だって?

ドク

マーティ: パパがビフを1発のパンチでのしたんだ。彼に

あんな勇気があるとは思わなかった。彼の人生 で、ビフに逆らったことなんて一度もなかった

からね。 : 一度も?

マーティ: ないよ、どうして? 何か問題でも?

ドク:よし。君の目的地時刻をセットしよう。

: これが君が発ったときの正確な時刻だ。これと まったく同じ時刻に君を送り返す。君がどこに も行かなかったようになるぞ。

: さて、私が道の向こう側に白線を引いておいた。 あそこから君はスタートするんだ。雷が落ちる 瞬間から逆算し、加速度と風の抵抗を計算に入 れ、正確な距離を算出しておいた…落雷は…正 確に7分22秒後だ。アラームが鳴ったら、アク セルを踏むんだ。

concept

= idea

zoot suit

1940年代初期に流行った、裾が細いだぶだぶのズボンにパッドが入った肩幅の広い大きなジャケットからなるスーツ。

come through

= do what he have to do; do a great iob

it it

ここでは the courage and strength to fight someone ほどの意。

stand up to

= fight against; argue with

■ What's the matter?

「何事なの?、どうしたんだ?」

= What's wrong?; What is causing you trouble or pain?

ただし、この表現は相手に対して怒りを表して How can you be so stupid. (君はどうかしてるよ)の意味で使われることもあ

■ take into account

= to consider: to make allowance for

■ retroactive

with respect to past occurrences

go off

= start ringing

この他にも Fish Under The Sea Dance went off as planned. (海のお魚ダンス・バーティは計画通りうまくいった)のように「事が予想通りうまくいく」や、A shiny bomb didn't go off. (ピカピカの爆弾は爆発しなかった) のように多くの意味がある。

■ hit the gas

= press the accelerator pedal; go very fast

ここでの gas は自動車などの「アクセル」 の意。 MARTY: Right.

DOC: Well, I guess that's everything.

MARTY: Thanks.

DOC: Thank you.

: See you in about thirty years.

MARTY: I hope so.

DOC : Don't worry. As long as you hit that wire

with the connecting hook at precisely eighty-eight miles an hour, the instant the lightning strikes the tower. Everything will

be fine.

MARTY: Right.

DOC : What's the meaning of this?

MARTY : You'll find out in thirty years.

DOC: it's about the future, isn't it? It's

information...

MARTY: Wait a minute!

DOC : ...about the future! I warned you about

this, kid! The consequences could be

disastrous!

MARTY: Doc, that's a risk you're gonna have to

take. Your life depends on it!

DOC : No! I refuse to accept the responsibility!

MARTY: In that case, I'll tell you straight out!

DOC : Great Scott!

: You get the cable, I'll throw the rope down

to you!

MARTY: Right! I got it!

I hope so o hope 思う、望む

as long as ~な限りは、~しさえずれば o

in o

warn 警告する、注意する

consequence 結果、成り行き

disastrous 災害の、悲惨な

risk 危険

Your life depend on it o depend on ~による, 頼る refuse 断る, 拒絶する accept 受け入れる in that case その場合は, そ

nasis o

tell you straight out o straight out 直接に、率直に

get o

I got it o

マーティ : 分かった。

ドク: よし、これですべて完了だな。

マーティ : ありがとう。

ドク : こちらこそありがとう。

: 30年後にまた会おう。

マーティ : そう願うよ。

ドク : 心配するな。あのケーブルを連接フックで正確

に時速 88マイルで接触しさえすれば、その瞬間

に雷が時計台に落ちて、すべてがうまくいく。

マーティ : そうだね。

ドク: これはどういうことだ?

マーティ: 30年後に分かるよ。

ドク: 未来のことか、そうなんだな? 情報だな…

マーティ : 待ってよ!

ドク: …未来の! このことは君に發告しただろ! こ

の結果が惨事を引き起こすかもしれないんだ

ぞ!

マーディ:ドク、それはあなたの身に起こる危険なんだ。

あなたの命がそれにかかってるんだ!

ドク : だめだ! 私はそんな責任を負いたくない!

マーティ: それなら、僕が直接言うよ!

ドク: 大変だ!

: 君はケーブルを、私がロープを下に投げる!

マーティ : ああ! 分かった!

I hope so

マーティはドクが30年後に銃で撃たれる ことを知っているので、「会えたらいいな」 ということでhopeを使っている。しかし、 ドクはマーティが未来に帰れるかどうかを 心配して hope を使ったものと勘違いして いる。

as long as

ex. I will never forget your advise as long as I live. (君のアドバイスは一生忘れ

ません)

in.

ここでの in は I'llcome back in a week. (1 週間したら帰ってきます)と同様、after や at the end of の意味。なお、「~以内に (で)」としたい場合には、The train will arrive within ten minutes. (列車は10分以内に到着するでしょう)のように within を使う。

■ disastrous

= terrible: horrible

Your life depends on it

If you want to live, you must read this

letter といったところ。

■ in that case

= since you have done that

■ tell you straight out

= tell you directly; tell you face to face

■ get

ここでの get は、grab や take ほどの意。

■ I got it

「分かった」

この他にも「やった、成功した、任せてお

け」などの意味がある。

INT JEXT. CLOCK TOWER - NIGHT - As the gears turn, the clock moves another minute closer to 10:00 P.M. Doc steps out onto the window ledge, and is surprised by the animal statue that he sees.

window ledge 窓の場 o

DOC : O0000! MARTY : Doc!

DOC : Come on, come on. Let's go!

MARTY : All right! Take it up!

: Go!

: Doc!

DOC : What?

MARTY : I have to tell you about the future!

DOC : What?

MARTY : I have to tell you about the future!

DOC : What?

MARTY : On the night I go back in time, you get...

: Doc!

DOC : Oh! Go! MARTY : No. Doc!

DOC : Look at the time. You've got less than four

minutes. Please, hurry!

: Yay!

MARTY : Damn it, Doc. Why did you have to tear up

that letter? If only I had more time.

: Wait a minute. I got all the time I want. I got a time machine. I can just go back early and warn him. Okay. Ten minutes oughta

do it.

: Okay. Time circuits on. Flux capacitor... fluxing. Engine running. All right.

do o

fluxing o

less than より少ない、~以下

Why did you...that letter o tearup 破く、引き裂く

if only ~さえすれば、~ならよいのだが o

屋内/屋外-時計台-夜-歯車が回り、時計がまた1分進み午後 10時00分に近づく。ドクは窓の棚に進み出て、動物像を見て驚く。

■ window ledge

= bottom edge of the window

ドク : うぉぉ! マーティ : ドク!

ドク : よし、よし。行くぞ! マーティ : いいよ! 上げて!

: 行け!

: ドク!

ドク : えっ?

マーティ:未来のことを言わなきゃいけないんだ!

ドク: はっ?

マーティ:未来のことを言わなきゃ!

ドク: 何だって?

マーティ : 僕が戻る夜に、あなたは…

: ドク!

ドク : おお! 行くんだ!

マーティ : だめだよ、ドク!

ドク: 時間を見ろ。もう4分もないぞ。頼む、急いで

くれ!

: いいぞ!

マーティ : もう、ドク! どうしてあの手紙を破るんだよ?

もう少し時間があれば。

: 待てよ。 僕は時間を好きなように移動できる。 タイム・マシーンがあるんだから。 少し早めに戻って 警告するんだ。 よし。 10分もあればいいだ

ろう。

: よし。時間回路セット。次元転移装置…作動。

エンジン回転。よし。

■ Why did you have to tear that letter? Why did you tear up the letter? と同意。

■ if only

この表現は強い願望の気持ち、またその 願望の実現性に乏しいために諦めや残念 な気持ちが要される。

ex. If only I could have been with you. (君と一緒にいることができたならなあ)

■ do

この do は will, would, should, ought to などと共に用いて Will this do? (これでよろしいですか?) のように「(物事が) 間に合う、役に立つ、事足りる」の意を表す。

ex. That will do. (もう十分だ)

fluxing

working の意で使ったもの。しかし「(次 元転移装置が)作動している」というため の適切な音葉がよく分からないため、少し 考えてから適当に flux capacitor なので fluxing ときったものと思われる。 MARTY

: No. No, no, no. Not this time. Come on,

come on!

not this time o

: Come on!

: Here we go, here we go! This time! Come

on!

here we go o

: Please! Come on!

: Doc!

DOC : Yahhhh!



四次元の世界

1968年6月1日、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスの郊外を2台の高級車が走っていた。その夜は深い霧が立ちこめており、後ろの車には弁護士のビダル夫妻が、前の車にはその妹夫妻が乗っていた。どこまでも続く小麦畑の中を通る道路を走っていくうちに、2台の乗用車の距離が次第に開いていった。マイプ市の郊外にさしかかった時、前の車の妹夫妻が後ろを振り向いてみると、後方は濃霧に包まれて明かり一つ見えない。そこで停車してビダル夫妻の車を待ったのだが、30分たっても1時間たっても、霧の中からは何も現れてこない。引き返してみたが、すれ違う車もなく、路肩に止めてある車もない。つまり、ビダル夫妻の乗った乗用車はハイウエーを疾走中に忽然と蒸発してしまったのである。翌朝から妹夫妻たちが総出で近くをくまなく探したが、人も車も何も発見できなかった。2日たって、メキシコシティにあるアルゼンチン領事館から長距離電話がかかってきた。「ビダルと名乗る夫妻を保護している」という

マーティ : おい。おい、おい、おい。勘弁してくれよ。頼

む、かかってくれ!

:頼むよ!

: 行け、かかれ! 頼むから! かかれ!

: 頼む。頼むよ! かかれ!

: ドク!

ドク : やったぞ!

not this time

「今回はやめてくれ、今度はダメだ」 = not again

: come on

■ come on ここでは work や don't stall の意。

nere we go

「さあ行くぞ、さあやるぞ、さあどうぞ」 何かやろうとするとき、また何かを手渡す ときの掛け声。なお、here we go again となった場合は、同じことの繰り返しに群 易(へきえき)して「またかよ、頻だね」と

のニュアンスで使われる表現。

のである。電話に出た本人の声は、紛れもなくビダル氏のものだっ た。

帰ってきた夫妻の話によれば、当夜、突然前方に霧のようなものが現れ、あっという間に車が包み込まれてしまった…。そのまま2人は失神してしまったと言う。しばらくして正気に戻った時には、2人は昼間のハイウエーを走っていた。ただ、外の景色がアルゼンチンの平原と全く違う。車を降りて聞いてみると、何とそこはメキシコだという。2人の時計は失神したときの12時10分で止まっていたが、領事館に駆け込んだのが6月3日のことであった。これは真実の話として、当時の現地の新聞も大きく報道している。「2人はおそらく、アルゼンチンからメキシコに通ずる空間の管に巻き込まれ、四次元の世界を通り抜けて、再び現実の空間に戻って来たのだろう」という噂であったという。

(H.Y.)